

# 2022年3月期 決算説明会

2022年5月30日

nmsホールディングス株式会社  
(JASDAQ 2162)

Piece of Innovation.



# nms ホールディングス株式会社

## 2022年3月期 決算概要

- 需要は堅調を維持し、お客様ニーズも高い水準で推移した一方、感染症や部材不足等による影響が継続
   
**感染症影響**：当社グループ進出国・地域において、感染症再拡大によるロックダウンが断続的に行われたことにより、お客様やサプライヤーの稼働停止、人の往来制限による事業停滞等が発生
   
**部材不足影響**：国内外のお客様の減産や稼働停止、生産計画後ろ倒し等による大幅な生産減に加え、需給ひつ迫を背景とした原材料・副資材の価格高騰や物流コストの上昇が継続
- 感染症関連費用、北米EMS事業における事業構造改革費用及び減損損失等、特別損失1,744百万円を計上
- 今後も不透明な事業環境が続く様相だが、事業構造改革の効果や需要拡大等を背景に、次期（2023年3月期）業績はすべての事業セグメントで改善に転ずる見込み、グループ全体で事業基盤の強化を進めていく
- 24年度までの中期経営計画についても、事業環境の変化を注視しながら今後時機を得て開示する予定

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績						備 考
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
売上高	54,856	14,944	15,485	15,311	17,536	63,277	<b>【営業外損益】</b> 営業外収益 797百万円 (前年同期比 600百万円増)  <b>【特別損益】</b> 特別利益 35百万円 (前年同期比 7百万円増) 特別損失 1,744百万円 (前年同期比 1,246百万円増)	
営業利益	689	40	△278	△391	267	△361		
経常利益	158	402	△351	△394	466	122		
親会社株主に帰属する 当期純利益	△735	75	△357	△462	△1,235	△1,980		
EBITDA	1,954	413	113	△10	637	1,153		

# ■セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2021年 3月期 実績	2022年3月期 実績								主なポイント	
							累計	21年3月期 対比				
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
H S 事業	売上高	19,135	5,367	5,459	5,577	5,684	22,088	15.4%	国内はお客様の稼働調整影響があつたものの需要は堅調に推移し海外は中国、タイが改善一方、募集費等先行投資影響があり全体として增收減益			
	セグメント利益	874	181	132	39	293	647	△26.0%				
E M S 事業	売上高	24,054	6,441	7,240	6,625	8,093	28,400	18.1%	需要は堅調に推移したがASEAN北中米における感染症及び部材不足起因によるお客様の減産や部材価格高騰、物流コスト上昇等による影響を受け損失を計上			
	セグメント利益	△29	△78	△222	△193	△40	△536	—				
P S 事業	売上高	11,666	3,134	2,785	3,108	3,758	12,788	9.6%	部品調達難や価格高騰影響に加え、ASEANにおける感染症拡大でお客様やサプライヤー生産拠点のロックダウン影響を受け增收減益となつたが需要は堅調を維持			
	セグメント利益	327	55	△71	△121	139	1	△99.5%				
調整額	セグメント利益	△482	△116	△115	△116	△124	△473	—	当社（持株会社）に係る全社費用 *持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分			
合 計	売上高	54,856	14,944	15,485	15,311	17,536	63,277	15.4%				
	セグメント利益	689	40	△278	△391	267	△361	—				

\* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

売上高

22,088百万円

前年同期比 15.4%増

セグメント利益

647百万円

前年同期比 26.0%減

【事業母体】

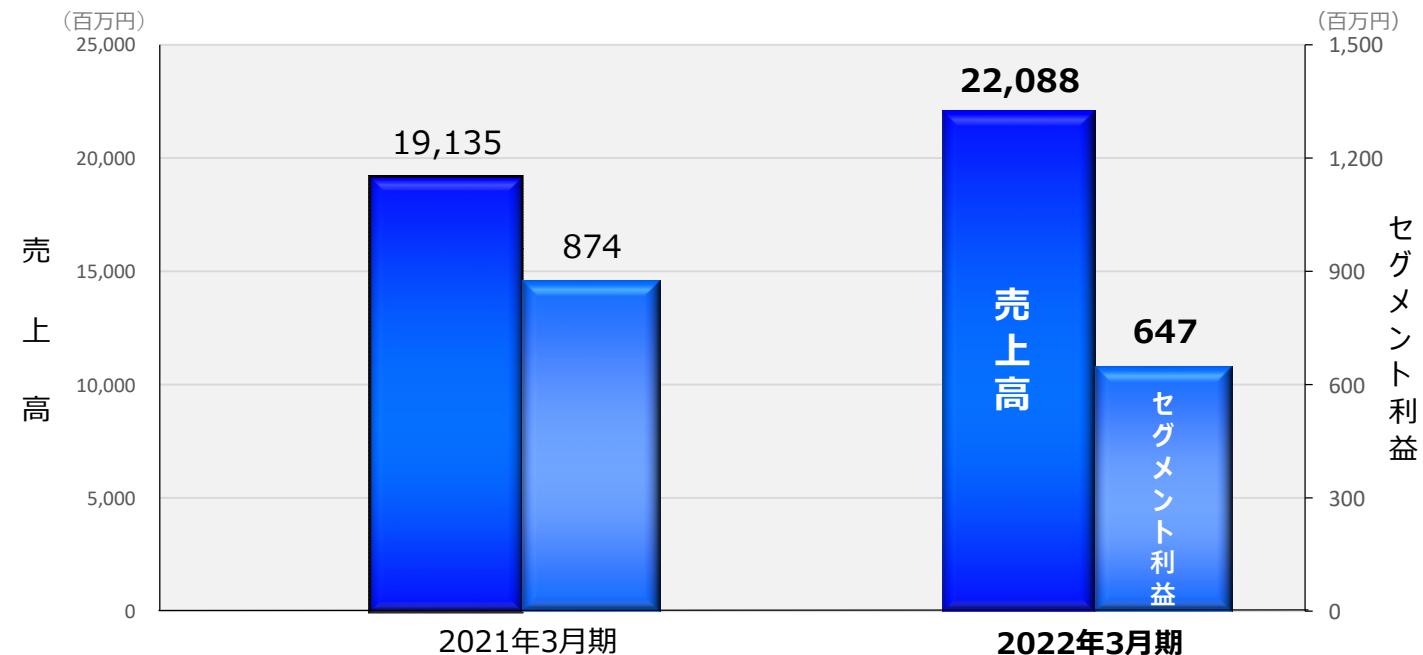
日本マニュファクチャリング  
サービスグループ

国内

- 感染症拡大や半導体関連等の部材不足による影響があったものの、事業規模拡大に向けた施策効果とともに前年同期に比べ感染症影響によるお客様の稼働調整による影響が軽微となったこともあり、前年同期に対し增收
- 利益においては、募集関連費用等、事業規模拡大のための先行投資の影響があったが需要拡大への対応を継続

海外

ASEANにおいて、感染症によるお客様の稼働調整等の影響があったものの前年同期に比べるとその影響は軽微となり、特に中国、タイにおける業績が改善傾向となった



# (参考) セグメント別業績 - EMS事業 -

売上高

28,400百万円

前年同期比 18.1%増

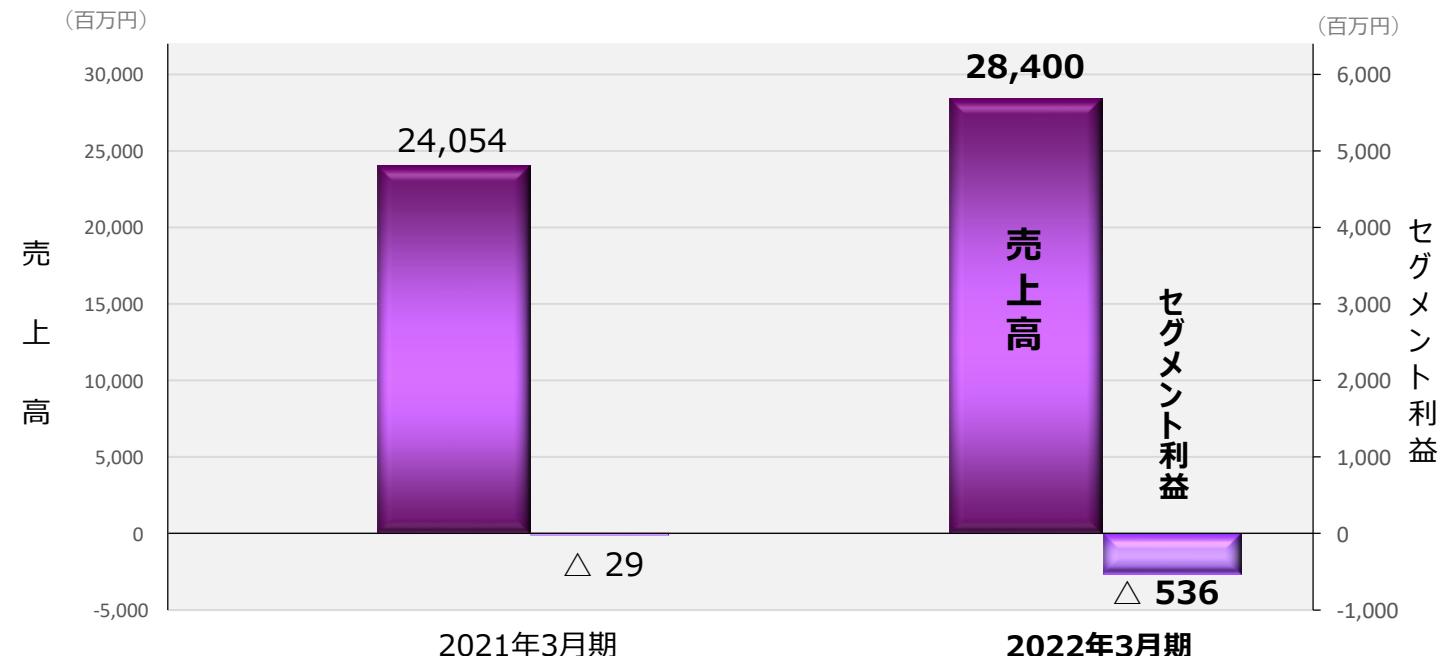
セグメント利益

△536百万円

【事業母体】

TKRグループ

- 中国・ASEAN・北中米において生産活動を展開しており、感染症再拡大に伴い、マレーシア、メキシコにおける各國政府方針によるロックダウンや部材不足等の影響が残ったものの、中国・ASEANでは感染症による影響が前年同期に比べ軽減されたことに加え、ベトナム拠点での新規品生産立ち上げの開始もあり、前年同期に対し増収
- 利益面では、重点施策として生産立ち上げを進めているメキシコ拠点の先行投資コストに加え、事業全体において部材不足に起因したお客様の減産や生産計画後ろ倒し、部材価格高騰や物流コストの上昇等の継続が利益圧迫要因となり損失を計上



売上高

12,788万円

前年同期比 9.6%増

セグメント利益

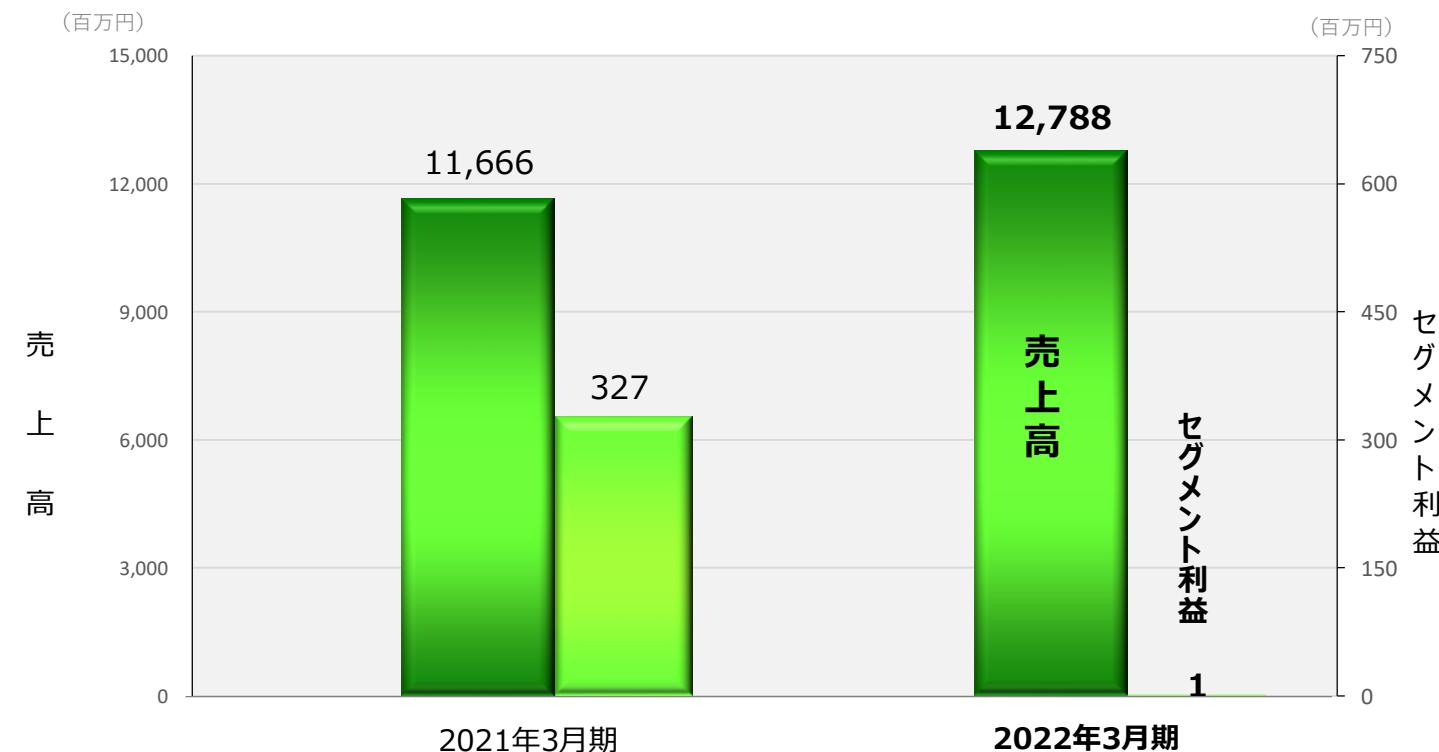
1百万円

前年同期比 99.5%減

【事業母体】

パワーサプライテクノロジー  
グループ

- 抜本的コスト構造改革による体質強化の効果もあり、第1四半期は想定を上回る状況で推移したものの、第2四半期以降は部品調達難および副資材も含む部材価格高騰の影響が顕著となり、お客様やサプライヤーの生産拠点におけるロックダウン等の影響も継続
- 部材調達難等の影響が利益圧迫要因となったが、需要は高い水準で推移しており增收  
部品不足解消時及び次年度を見据えた取り組みを推進



# ■ 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2021年3月期末 (2021年3月31日)	2022年3月期末 (2022年3月31日)	増 減
<b>流動資産</b>	<b>21,658</b>	<b>26,349</b>	<b>4,690</b>
<b>固定資産</b>	<b>9,796</b>	<b>8,453</b>	<b>△1,342</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,890</b>	<b>6,697</b>	<b>△1,192</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>883</b>	<b>722</b>	<b>△161</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,022</b>	<b>1,033</b>	<b>11</b>
<b>繰延資産</b>	<b>52</b>	<b>39</b>	<b>△13</b>
<b>資産合計</b>	<b>31,507</b>	<b>34,842</b>	<b>3,334</b>
<b>負債合計</b>	<b>26,804</b>	<b>32,148</b>	<b>5,343</b>
<b>流動負債</b>	<b>17,460</b>	<b>26,333</b>	<b>8,873</b>
<b>固定負債</b>	<b>9,344</b>	<b>5,814</b>	<b>△3,529</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,702</b>	<b>2,693</b>	<b>△2,008</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>31,507</b>	<b>34,842</b>	<b>3,334</b>

# ■ 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期	主なポイント
税金等調整前当期純利益	△310	△1,586	
減価償却費	1,266	1,514	
運転資金の増減	1,348	△2,300	売上債権 △1,008 在庫 △2,184 仕入債務 892
減損損失	—	1,433	
その他の	△1,361	△611	
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>943</b>	<b>△1,550</b>	
固定資産の取得・売却	△1,014	△881	売却収入 378 取得支出 △1,260
その他の	95	△44	
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△919</b>	<b>△926</b>	
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>24</b>	<b>△2,476</b>	
借入金の増減	1,394	3,396	
配当金支払 他	△729	△795	リース債務返済 △347 配当金 △66
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>664</b>	<b>2,601</b>	
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>4,741</b>	<b>5,106</b>	

# ■ 減損損失計上の内容

- 当社グループの北米EMS事業における固定資産に関し、現在の事業環境を踏まえ、将来キャッシュ・フローによる回収可能価額を慎重に検討した結果、想定していた収益の実現時期が当初より遅れる見通しであり、当連結会計年度において1,433百万円の減損損失を計上
- 対象固定資産の主なものは、建物及び機械装置、無形固定資産
- 北米EMS事業は、北中米市場における車載関連分野の事業拡大を目的に、設備投資を行ってきたが新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴う現地ロックダウンによる影響が継続したことに加え、当連結会計年度に入り、部材不足に起因するお客様の稼働停止や生産計画後ろ倒し等による影響が顕著となり、事業全体の停滞を余儀なくされていた
- 減損損失を計上するものの、今後も北米EMS事業の拡大をめざすことに変わりはないポートフォリオの見直しを行い、車載関連分野だけでなく、市場規模が大きく、かつ、安定した市場であるエンジニアリングツール分野をターゲットとした顧客開拓を行っており、本年5月から北米顧客向けの量産を開始するとともに、順次、新規量産プログラムを立ち上げ、事業の成長に注力していく

# ■ 2023年3月期 業績予想・配当予想

- 次期においても、感染症による国内外経済活動の一時的制限や物流及びサプライチェーン停滞、部材不足・調達難等による生産活動への影響に加え、世界情勢の変化に伴う為替変動による影響も想定され、今後も不透明な事業環境が続く様相だが、当連結会計年度に実行した事業構造改革の効果に加え、HS事業における売上・利益の増加やEMS事業の新規量産立ち上げ、PS事業の産業機器分野への電源製品需要拡大等を背景に、すべての事業セグメントで業績改善に転ずる見込み
- これらにより、2023年3月期の通期連結業績は、前期実績に対し、売上高は22%增收の77,100百万円、営業利益は600百万円（961百万円の増益）、経常利益は450百万円（327百万円の増益）、当期純利益は50百万円（2,030百万円の増益）を計画
- 配当は、1株当たり5円の期末配当を行うことを予定
- 2024年度までの中期経営計画についても、事業環境の変化を注視しながら、今後時機を得て開示する予定引き続き、グループ全体で事業基盤の強化を進め、売上・利益の確保に努めていく

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	22年3月期 対比
売上高	54,856	63,277	77,100	21.8%
営業利益	689	△361	600	+961
経常利益	158	122	450	+327
親会社株主に帰属する 当期純利益	△735	△1,980	50	+2,030
1株当たり配当金 (期末配当)	4円	5円	5円	

- **マクロ環境変化への対応力強化**  
部材調達ソースの多様化、機動的対応  
為替エクスポージャー圧縮への対応
- **キャッシュ・フロー観点で事業をチェック**  
運転資本：部材の戦略的確保を行う一方、在庫過多を抑制  
仕入から回収までのサイクル短縮など運転資本を圧縮  
投資精査：創出利益および実行タイミングの精査  
事業特性に応じた経済性シミュレーション  
複数指標で計画を精査
- **自己株式を活用した資本政策**

**確実に利益（キャッシュ）を生み出す基盤を再構築**

# 22年度（23年3月期）の展望

## ● HS事業：基盤強化、収益体质改善

- ・原価率改善、適正販管費の管理強化
- ・生産変動リスクへの対応力強化
- ・製造業の海外進出・製造支援サービス事業の拡大

## ● EMS事業：北米EMS事業の新規顧客開拓

- ・マレーシア拠点のキャッシュカウ機能強化
- ・ベトナム拠点の量産立ち上げ開始
- ・北米EMS事業の新規顧客開拓（エンジニアリングツール関連）

## ● PS事業：産業分野市場への参入

- ・殺菌・滅菌機器市場、FA・ロボティクス市場への拡販強化
- ・コスト構造改革実行
- ・モノづくり強化PJで付加価値創出強化

需要は高い水準を維持、製造業の人手不足が継続  
ファブレス化の加速を好機に着実な成長をめざす

## 22年度実行主眼

- お客様ニーズに即した多様なサービスの提供・高度化
- 製造業の海外進出・製造支援サービス事業の拡大
- デジタルプラットフォームの構築、展開

## 22年度実行主眼

### ■ お客様ニーズに即した多様なサービス・人材の提供・高度化

サービス：派遣・請負／海外生産移管・海外進出サポート／多能工育成  
総務支援サービス／グループ内製造受託インフラ・ノウハウの提供 等

人材：モノづくり人材／エンジニア／製造系シニアエキスパート人材  
技能実習生含む外国人材 等

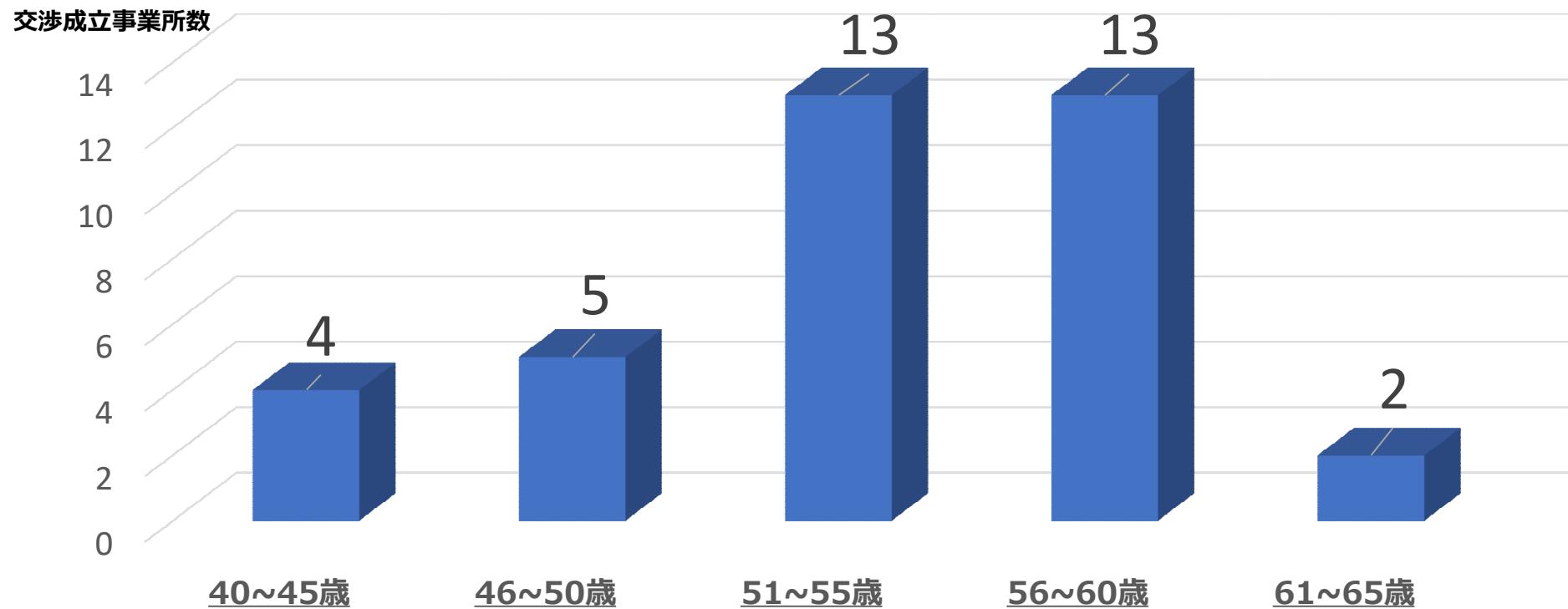
- 事業環境が変化する中、「派遣」、「請負受託」、それぞれの定義を再設定し、お客様の事業特性に合わせたサービス形態を提案・提供
- 業界でも早くから海外に自前で進出し培ったノウハウを基に、nmsは日本と海外、双方のブリッジ機能となり、お客様の海外生産移管・新規進出等のニーズに即応
- 製造業のファブレス化が進む中、請負受託だけでなく、お客様のシニアエキスパート人材の転籍や、多能工の育成も行い、幅広い人材の雇用機会を創出
- それぞれのプロセスにおいて適正価格への見直し・原価率の改善を図り、社員への還元を図るとともに、多様化した人材の育成・高度化を継続実行  
海外事業も22年度売上・利益とも大幅に増加

## 海外事業 5か年 売上・営業利益・原価率推移



## 多様な人材の雇用機会を継続的に創出

この1年間におけるシニアエキスパート人材受け入れ事業所拡大推移

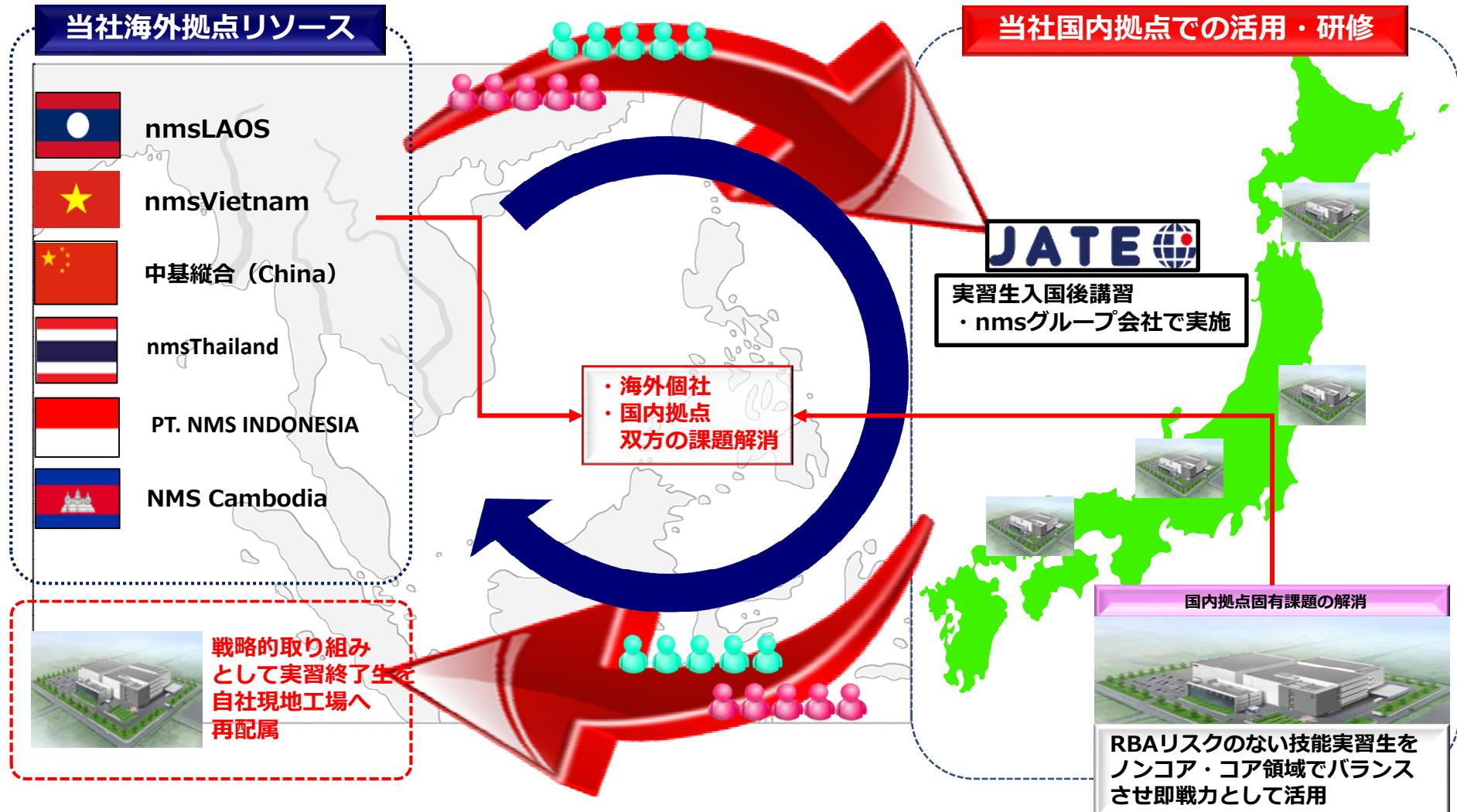


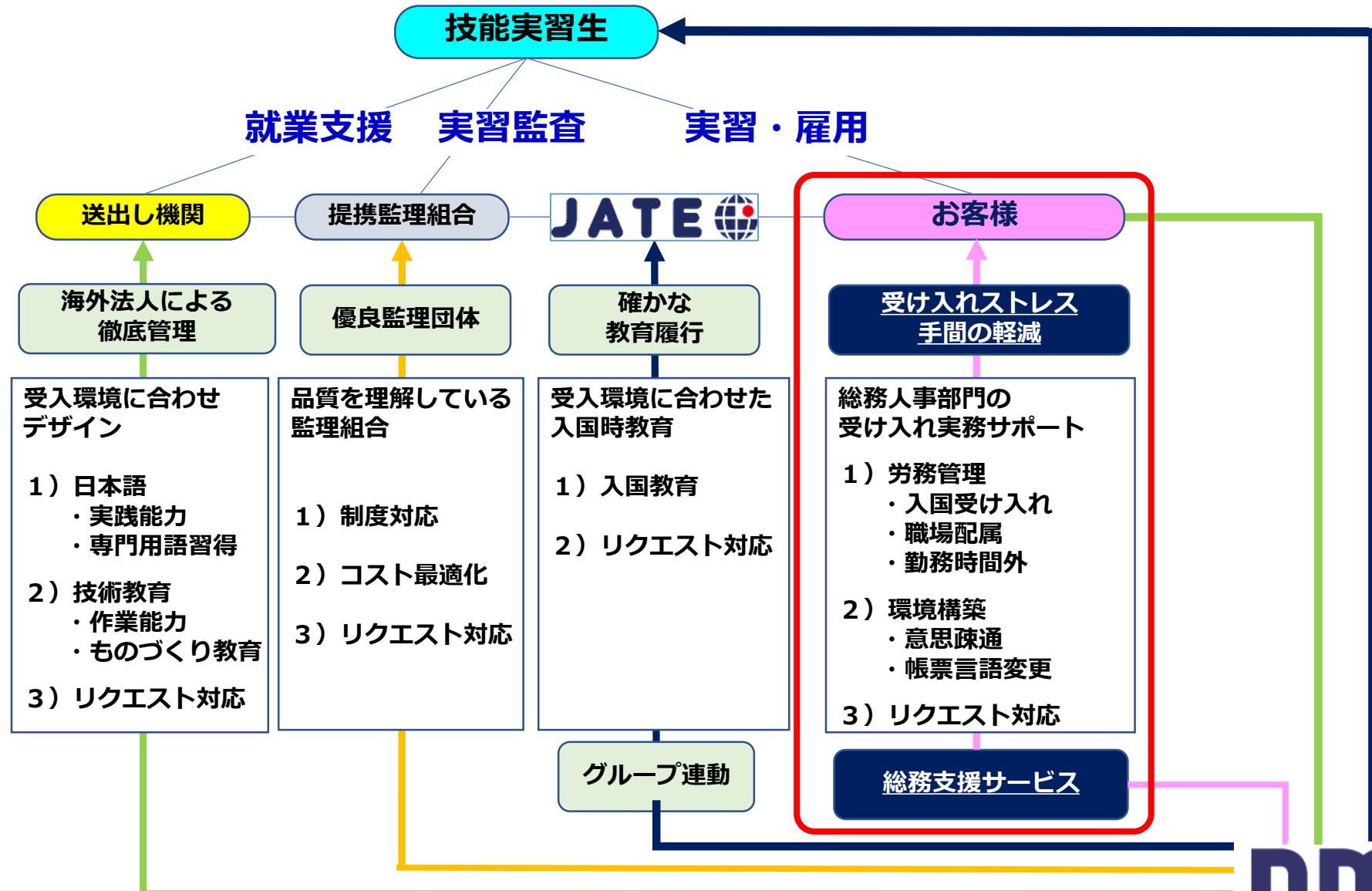
## 22年度実行主眼

### ■ 製造業の海外進出・製造支援サービス事業の拡大

- 住友商事株式会社と業務提携、ベトナム・タンロン工業団地でワンストップサービスを提供、人材ソリューション+製造支援でお客様の安定した生産をサポート  
(21年9月6日発表)
- 22年度からは現地においてDXの基盤構築を協働、人材の一括採用、教育・育成プログラム、ジョブグレードアップ制度等を連結させ可視化、その実績を他地域にも展開
- 海外事業で培った人材管理ノウハウを基に、お客様の拠点の人材定着率改善策も推進し、採用から教育、評価、多能化、など好循環サイクルを創出、人材に関する生産性向上に貢献

## ◆nms Only One Scheme 【実習制度】活用◆





## 22年度実行主眼

### ■ デジタルプラットフォームの構築、展開

- 多様化する人材・提供サービスのデータを統合し、事業効率アップ<sup>°</sup>
- 製造業のファブレス化、ものづくり高度化に貢献する独自の「製造DX」を構築

日本の製造業は大きな課題に直面している！

- ①生産現場におけるデジタルテクノロジーの導入、運用の後れ
- ②正規社員削減による生産性の低下、品質問題、安定した生産現場の確立

「人材+製造請負・受託」×「デジタル技術」  
nmsグループ独自のビジネスモデルを構築

製造業の「DX」推進をサポート  
必要技術・ツールをワンストップで提供

さまざまな特性をもつAI企業・パートナー企業、  
海外の政府・大学とのネットワークを活用  
人材・生産管理・自動化・部材調達・物流など  
顧客ニーズに合ったDXを実現するサービスを提供

国内外の製造業ファブレス化に  
貢献する高度人材の育成・提供

グループ内EMS・PS事業とのシナジーに加え  
ジョブグレードアップ制度の展開や  
技術・技能教育の拡充でさまざまなニーズに  
貢献する即戦力人材を育成

## 21年度は部材不足・感染症拡大による影響を余儀なくされたが 後ろ倒しとなっていた新規量産立ち上げが本格化

### 22年度実行主眼

#### ■ベトナム拠点 (TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.)

- ⇒ 21年6月より新規品生産立ち上げを開始、22年度は売上倍増を計画  
車載用ワイヤレス充電器関連やAV・音響機器関連など、プレス技術を核とし  
完成品まで生産できる特長を活かし、ベトナムへの生産移管を進める日系企業のニーズに対応

#### ■メキシコ拠点 (TKR de México S.A. de C.V.)

- ⇒ 21年度は厳しい事業環境となったが、生産コストや物流面で利便性が高い地の利や  
現地ネットワークを活かした北米市場を主軸とした顧客ポートフォリオなど戦略の基軸を再設定  
北米において大きなマーケットを有し、需要が安定している電動工具や産業機器等（エンジニアリングツール分野）の顧客にフォーカス  
部材不足やロックダウン影響で後ろ倒しになっていた生産計画も22度年1Qから量産開始

部材調達難、副資材も含む部材価格高騰による影響があるものの  
コロナ禍における殺菌・滅菌需要を背景に産業機器分野に参入

## 22年度実行主眼

### ■ 主軸製品の収益基盤強化

- ⇒ 高圧電源、マグネットロールを中心に安定した収益体质への足掛かりを構築  
マグネットロールはASEANにおける販売に着手

### ■ 産業機器市場への製品展開、新規顧客の獲得・拡販

- ⇒ 省人化・自動化ニーズによるロボティクス市場の拡大や、感染症対策を背景とした  
殺菌・滅菌機器市場への製品展開を実行、新たな市場を開拓

### ■ 電池パック技術を横展開、新分野需要へ対応

- ⇒ 安心安全の電源設計技術と蓄電・充電技術・ノウハウを活かしターゲット分野を拡大  
建機・農機の電動化ニーズによる需要拡大など、新分野開拓を推進

## nms ホールディングス株式会社

<https://www.n-ms.co.jp/>

本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2022年3月31日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場） 証券コード 2162
グループ社員数	13,500名（2022年3月31日現在）
事業内容	ヒューマンソリューション（H S）事業 エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス（E M S）事業 パワーサプライ（P S）事業 におけるグループ事業統括及び経営管理等
連結子会社数	海外19社含む25社（海外9カ国にグローバル展開）
主な連結子会社	日本マニュファクチャリングサービス株式会社（H S事業） 株式会社T K R（E M S事業） パワーサプライテクノロジー株式会社（P S事業）

HS事業  
からスタート

海外展開へ

最先端技術の根幹を支える  
アナログ技術に着目

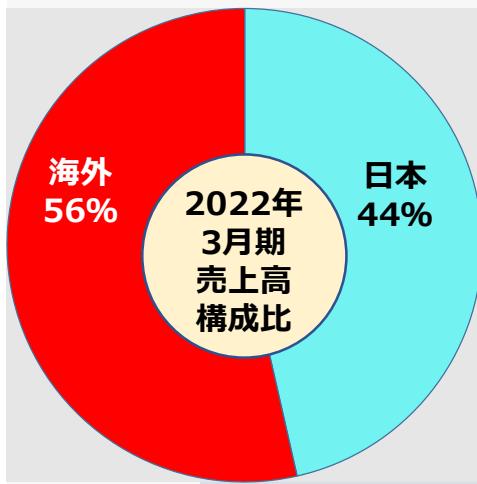
EMS・PS事業を  
M&Aで獲得  
モノづくり分野へ進出

北中米へ進出

新たなステージへ

1985	9月 製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立
1999	9月 商号を日本マニュファクチャリングサービス株式会社に変更
2000	7月 北京日華材創國際技術服務有限公司を設立
2003	10月 テクノブレーン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受
2004	4月 中国北京市に北京オフィスを開設
2005	4月 日本人技術者派遣事業を開始
2007	7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設
2008	10月 JASDAQ証券取引所へ上場（現東京証券取引所スタンダード市場）
2010	7月 EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化
2011	8月 NMS International Vietnam Company Limited 設立 (外資初の構内製造請負事業許認可を取得)
2012	12月 北京中基衆合國際技術服務有限公司（現：中基縦合（上海） 人材資源服務有限公司（中基縦合））を設立 (外資初の中国国内労務派遣営業許認可取得)
2013	3月 中基縦合が中国政府系人材サービス会社を子会社化
2014	10月 TKRが株式会社日立メディアエレクトロニクスより 電源・トランジス事業等を譲受
2015	3月 兼松株式会社と資本業務提携
2016	1月 NMS VIETNAM CO.,LTD.設立
2017	3月 カンボジア駐在員事務所設立 7月 ベトナム工場、製造受託開始 7月 nms(Thailand)Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携 7月 TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立
2018	1月 パワーサプライテクノロジー社 EV分野の製品開発・製造拠点 「松阪工場」を開設 5月 TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.を設立 6月 nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社を設立
2019	10月 PT. NMS CONSULTING INDONESIAを設立 12月 TKR USA, Inc. を設立
2020	1月 nmsエンジニアリング株式会社を設立 3月 Power Supply Technology (Thailand)Co., Ltd.を設立 7月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedを設立
2021	1月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedにて事業開始 1月 TKRが株式会社テーケイアールマニュファクチャリングジャパンを吸収合併 1月 「株式会社テーケイアール」から「株式会社TKR」に商号変更 4月 TKRにて「シェアリングビジネス事業」、事業譲受した「3Dプリンター事業」を立ち上げ

# (参考) nms HDグループの海外展開



## タイ・カンボジア・ラオス



nms(Thailand) Co., Ltd.  
Power Supply Technology  
(Thailand) Co., Ltd.



Representative office  
of nms (Thailand) Co., Ltd.



nms Lao Sole Co., Ltd.

HS

PS

EMS

## マレーシア



SHIMA Electronic Industry (Malaysia) Sdn. Bhd.  
TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.  
TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

EMS

## 各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得

## 中国・香港

HS

EMS

PS



北京日華材創國際技術服務有限公司（日華材創）  
中基縱合（上海）人力資源服務有限公司（中基縱合）  
無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司  
東莞分公司 広州分公司

中宝華南電子（東莞）有限公司

中宝華南電子（佛山）有限公司

中宝華南電子（佛山）有限公司 深圳分公司

中宝華南電子（佛山）有限公司 蘇州分公司

TKR Hong Kong Limited

Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited



## ベトナム

HS

EMS



nms International Resources Co., Ltd.  
nms Vietnam Co., Ltd.  
TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.

## アメリカ・メキシコ

EMS

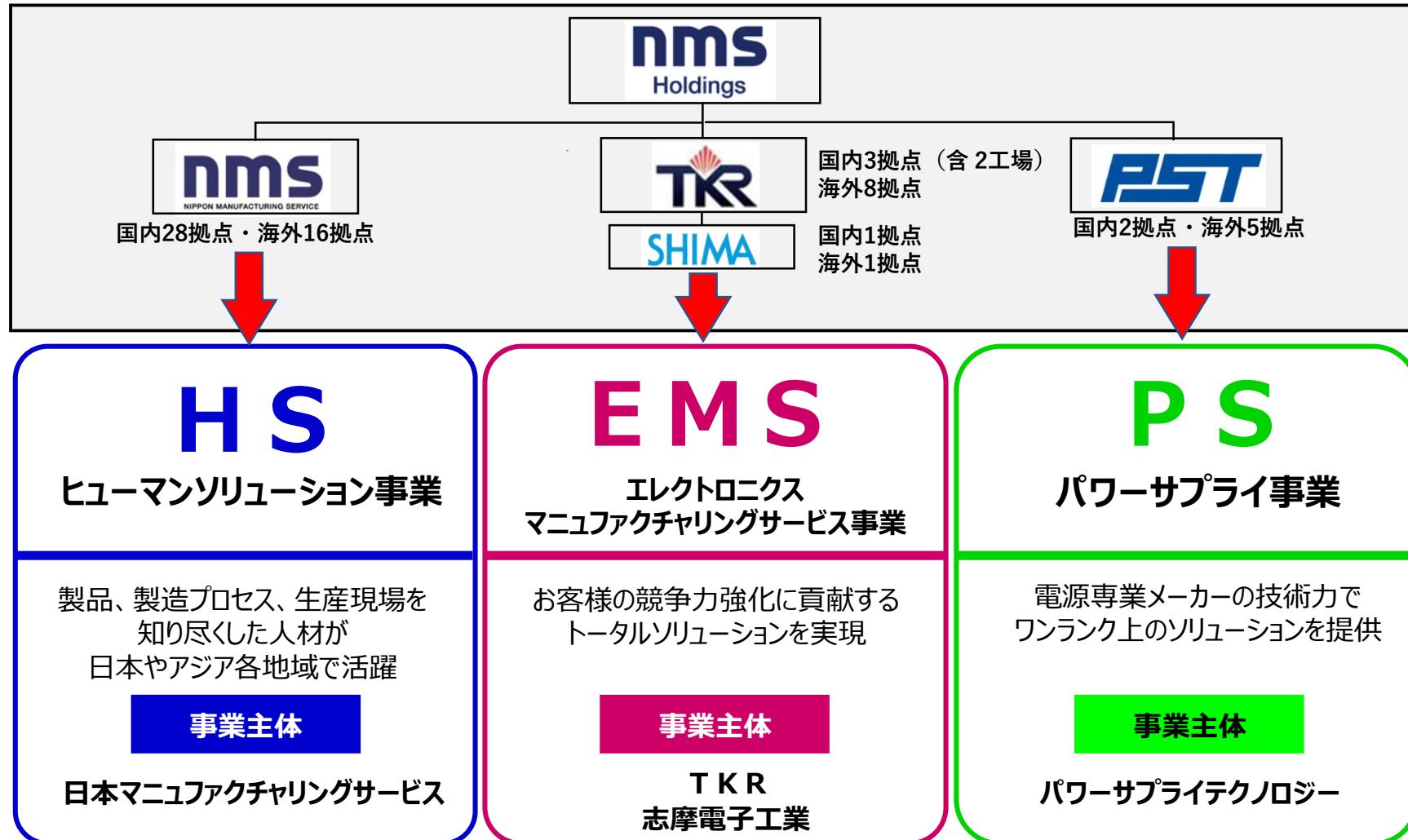


TKR USA, Inc.



TKR de México  
S.A. de C.V.

## 「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。



## 主なグループ会社

## 進出国・地域

## 主な事業内容

### ヒューマンソリューション事業 (H S事業)

#### ・日本マニュファクチャリングサービス株式会社

- ・n m s エンジニアリング株式会社
- ・株式会社日本技能教育機構
- ・中基総合（上海）人材資源服務有限公司
- ・nms Vietnam Co., Ltd.
- ・nms (Thailand) Co., Ltd.
- ・PT. nms Consulting Indonesia
- ・nms Lao Sole Co., Ltd. 他

日本  
中国  
ベトナム  
タイ  
ラオス  
インドネシア  
カンボジア

- 国内/海外におけるマニュファクチャリングサービス全般**
- ・製造事業（受託・請負・派遣・紹介）
  - ・生産系エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
  - ・IT・設計開発エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
  - ・テクニカルサービス事業（各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般）
  - ・ロジスティクスサービス事業（3PL/流通加工/派遣）
  - ・省力化装置事業
  - ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託および実習生受け入れ先への業務支援

### エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス (E M S事業)

#### ・株式会社TKR

- ・中宝華南電子（東莞）有限公司
- ・TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- ・TKR USA, Inc.
- ・TKR de México S.A. de C.V.
- ・株式会社志摩電子工業 他

日本  
中国  
香港（中国）  
マレーシア  
ベトナム  
米国  
メキシコ

#### ・電子機器製造受託サービス

（基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等）

#### ・電子機器修理サービス

#### ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造

・お客様とのシェアリングビジネス、これにかかる設計・開発・営業

#### ・スタートアップソリューション事業

・3Dプリンター事業（設計および製造、販売、修理、保守）

### パワーサプライ事業 (P S事業)

#### ・パワーサプライテクノロジー株式会社

- ・中宝華南電子（佛山）有限公司
- ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.
- ・Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

日本  
中国  
香港（中国）  
タイ

#### ・カスタム電源（スイッチング電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売

#### ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売

#### ・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）開発・設計・製造・販売

#### ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、  
発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ  
nms ホールディングス株式会社  
広報・IR部 Tel:03-5333-1737  
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

